

サツキ 晴れ

Satsuki
bare

CONTENTS

- 01 Cure病気のおはなし
- 03 地域医療を知ろう
- 04 TOPICS／新型コロナワクチン
〈予防接種済証〉保管のお願い
- 05 みよし市民病院を支えるチーム活動
- 06 職員募集中!



院長
メッセージ

令和3年4月1日、当院は2人のベテラン医師を迎えることができました。神部隆吉（副院長・総合診療科内科部長・消化器科）と、市原 透（顧問・総合診療科外科部長）です。今回の特集は2人のプロフィールや考え方、今後の抱負などをご紹介します。当院がめざす地域医療への貢献のあり方をレポートしました。ぜひご覧ください。



SPECIAL REPORT

中日新聞「リンクト」
LINKED
plus+
病院を
知ろう

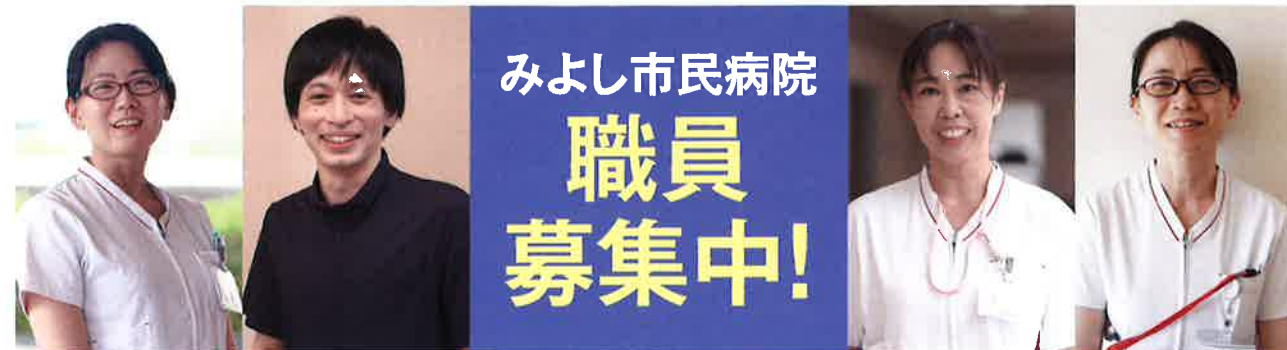
練達の医師を迎え
さらに生活に近い病院へ。

総合診療科特集

ご自由にお持ち
ください

みよし市民病院
Miyoshi Municipal Hospital

INFORMATION



みよし市民病院では、私たちと一緒に地域医療に貢献してくれる仲間を募集しています。
まずはお問い合わせください。

募集職種

看護師

- 資格 看護師の資格を有する人
- 年齢 昭和38年4月2日以降に生まれた人

看護助手

- 資格 介護福祉士の資格を有する人、または介護職員初任者研修修了者の資格を有する人
- 年齢 昭和38年4月2日以降に生まれた人

〈看護師修学資金〉制度もあります

みよし市民病院の看護師をめざす学生の皆さんに、修学資金を貸与します。勤務年数に応じて、返還が免除されますので、ぜひお申し込みください。

お問い合わせ

みよし市民病院 管理課
TEL 0561-33-3300

詳しくは
こちら



みよし市民病院の理念 みよし市を愛し、みよし市民の健康に寄与することを誓います。

基本方針

- 1 患者さんの尊厳を重視し、公正な医療を行います。
- 2 思いやりと、心のふれあいを大切にした医療を行います。
- 3 常に医療の進歩に目を向け、質の向上に努めます。
- 4 市民の皆さんに信頼される医療を行います。
- 5 地域医療の向上を目指し、保健・福祉との連携を図ります。



サツキ
晴れ

病院広報誌 特設サイト

地域の皆さんや連携機関の皆さんと「みよし市民病院」を情報で繋ぐ、広報誌連動型コミュニケーションサイト。ぜひご覧ください。 [こちらから](#)



LINE〈公式〉アカウント

病院広報誌「サツキ晴れ」のLINE〈公式〉アカウントを開設しました。QRコードから「友だち追加」をお願いいたします。



みよし市民病院

Miyoshi Municipal Hospital

〒470-0224 愛知県みよし市三好町八和田山15番地

TEL 0561-33-3300

<http://www.hospital-miyoshi.jp/>

サツキ
晴れ

発行責任者／院長 伊藤 治
発行／みよし市民病院 広報グループ
記事提供／中日新聞広告局
編集協力／プロジェクトリンク事務局
発行日／2021年11月

SPECIAL REPORT

練達の医師を迎え さらに生活に近い病院へ。

総合診療科特集

二人のベテラン医師を迎え、
総合診療や在宅医療支援を強化していく。



CHAPTER 01 内科と外科診療を極めた 百戦錬磨の医師たち。

令和3年度になり、みよし市民病院に、ベテラン医師二名が着任した。神部隆吉(副院長・総合診療科内科部長・消化器科)と、市原透(顧問・総合診療科外科部長)である。

神部は福井医科大学卒業後、名古屋大学医学部第二内科に入局。その後、名古屋掖済会病院に入職し、消化器内科で長く経験を重ねる(前職は、消化器内科部長)。消化管、肝臓、胆道、脾臓といった多くの臓器を診て、胃・大腸がん、膵がん、胃潰瘍、肝硬変など、消化器系のさまざまな病気の診療を行ってきた。口や鼻、肛門などから内視鏡を挿入して行う精密な治療も得意とし、日本消化器病学会 認定専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会 認定専門医・指導医の資格を持つ。

一方の市原は名古屋大学医学部卒業後、名古屋大学医学部第二外科入局。国立名古屋病院、国立豊橋病院などの勤務を経て、平成21年国立病院機構豊橋医療センターの院長に就任した。外科においては、食道・胃・大腸および肝臓・胆道・脾臓などの各種消化器がん治療を専門として、豊富な実績を蓄積。日本外科学会専門医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医の資格も持つ。また病院を率いる管理職として、豊橋病院の経営改善に取り組み、豊橋東

CHAPTER 02 総合診療や在宅療養 支援を強化していく。

「二人の医師が、口を揃えて『いい病院』だと言う、みよし市民病院の魅力はどこにあるのだろうか。『患者さんとの距離の近さですね』と言うのは、神部。『当院のスタッフは、単に病気を治すというのではなく、患者さんのことをよく理解して、それぞれの気持ちに寄り添って、自宅で安心して暮らせるように支援しています。それは、大きな病院ではなかなかできないことです』。市原は「チームワークの良さも素晴らしい」と話す。「限られた医師をフォローするために、看護師をはじめコメディカルスタッフが機転を利かせながら動くことで医療提供の効率を高めています。患者さんのために、院長以下、みんなが一致団結して、穏やかに助け合う風土は、当院の宝だと思います」。そんな二人は今、同院の外来で総合診療を担い、患者の全身を診て、正しく診断し、適切な治療に結びつけている。「私が専

病院との統合後の豊橋医療センターの黒字化を実現した経営手腕でも知られる。前職は同院名誉院長である。

この熟達した二人が、医師人生の集大成の舞台として選んだのが、みよし市民病院だった。神部は次のように述べる。「これまで大きな急性期病院で働いてきましたが、当院では検査のオーダーから診断、治療までより身近に関わることができ、とてもやりがいを感じています。キャリアを積んだからこそわかる、本当にいい病院に出会えたと言っています」。市原もその言葉に深くうなずく。「実は私自身、みよし市民です。この病院の奮闘ぶりを間近に見て、いい病院だという印象を抱いてきました。地元のためにひと肌脱げるのであれば、と考え、もう一度、医療の前線に立つことを決意しました」と話す。

COLUMN

●市原は持論として「病も地産地消」を唱えている。地産地消とは地元で生産されたものを地元で消費すること。地元産品は新鮮で安心、流通経費の無駄も省ける。

●同じように、病気になるなら遠方ではなく、地元の病院が最も頼りになる存在であるべきだと市原は考える。市民の病気を正しく診て、専門的な治療が必要な場合は近隣の病院へ繋ぐ。そんな地産地消の病院の役割を全うするべく、みよし市民病院は医療体制を強化していく。

門としてきた消化器の疾患などから脳腫瘍、甲状腺の疾患、脳出血、認知症まで幅広く対応しています。まずは目の前の患者さんに対し、純粋に良い医療を提供したい。そんな思いで日々診療にあたっています。今後は検診にも力を入れ、予防医療の面でも貢献していきたいと思っています」と神部は意気込みを語る。一方、市原は在宅医療の分野で、訪問診療をスタートさせた。「患者さんのご自宅を訪問するのは初めての経験ですが、こうした医療の重要性を実感しています。医療の中心が病院から地域へと移るなか、私たち医師も積極的に地域に出ていくべきです。地域の診療所の先生方と連携し、在宅療養している人をしっかり支えていきたいですね」。

長年のキャリアを武器に、総合診療や在宅医療支援の分野で精力的に活動していく二人。その先に、みよし市の未来、すなわち、病気を抱えながら、高齢になっても、安心して暮らしている地域の姿が見えてくるようだ。

BACK STAGE

地域に必要な医療を提供する自治体病院の役回り。

●現状、自治体病院の役割は幅広い診療科と救急医療に主眼が置かれ、その部分で診療報酬や自治体からの支援も手厚く設定されている。

●しかし、高齢化が進展する今、地域に求められるのは急性期医療だけではない。病気を抱えながらも安心して在宅で暮らせるよう、きめ細かくサポートする病院の存在が必要不可欠ではないだろうか。みよし市民病院はその一つのロールモデルとして、自治体病院の未来を示していく。



Cure 病気のおはなし

今回のテーマ 1

胆石症

胆のうや胆管に石ができ
さまざまな症状を引き起こす病気です。



胆汁の成分が 結晶化して胆石に。

私たちの体は、脂肪の消化を助けるために、肝臓で胆汁(消化液)が分泌され、胆のう管から胆のうへ送り込まれ貯蔵されます。そして、食べ物が胃から十二指腸に入ると、胆のうが収縮し、胆汁は総胆管から十二指腸へ分泌されます。

この胆汁の成分が結晶化したもの(結石)が胆石で、胆のうや胆管にできると、胆汁が分泌されるとき激しい痛みなどを引き起こします。その痛みはみぞおち付近だけでなく、肩や背中まで広がるのが特徴で、吐き気や黄疸が出ることもあります。発作が起きやすいのは、脂っこい食事をした数時間後などです。

胆石症になると 急性膵炎や胆管炎、 急性胆のう炎などに。

胆石症になると、さまざまな病気を引き起こします。たとえば、胆石が膵液の十二指腸への流れを妨げると「急性膵炎」を発症し、非常に危険な状態になることがあります。また、胆石が引っかかって胆汁の流れが滞ると、胆のうや胆管が細菌に感染しやすくなり、「急性



胆のう炎」や「胆管炎」になることがあります。軽いうちは抗生物質の服用で良くなりますが、ひどい場合には胆のうが腐って破れ、「腹膜炎」や「胆のう周囲膿瘍(たんのうしゅういいうよう)」を起こしたり、総胆管が膿汁で満たされ、細菌が血流に乗って全身をめぐる「敗血症」を併発し、命に関わる場合もあります。

また、胆石をそのままにしておくと、胆のうの壁が硬く萎縮し、「慢性胆のう炎」になることもあります。



MRI検査の画像。
胆汁の中に胆石が3つ写っている。

Message



みよし市民病院 顧問
総合診療科外科部長
市原 透

胆石は超音波の検査で簡単に見つかります。

胆石症で厄介なのは、胆石に関連してさまざまな病気を引き起こすこと。そして、それらの病気は治療が遅れると、命の危険に及ぶことが多くあります。さらに、胆石症になると「胆のうがん」を合併することも多くありますから、早く見つけることが大切です。

幸い、胆石は超音波検査で簡単に見つけることができます。早期に診断し、適

切に治療すれば、上部で述べたような危険な合併症のほとんどを回避することができます。なお、痛みを伴う胆石症の治療法は、胆のう摘出術が第一選択になります。当院では患者さんのご希望に合わせて近隣の高度急性期病院を速やかにご紹介しています。食後しばらくして、みぞおち辺りに痛みを感じるようであれば、お気軽に外来を受診してください。



上手な医療のかかり方①

過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。

今回のテーマ 2

消化器の進行がん

切除不能な消化器がんは
化学療法や緩和療法などで
生活の質を維持します。



化学療法と緩和療法を 並行して進めます。

胃、食道、大腸、膵臓、胆のうなど消化器のがんは早期発見できれば、治療が見込めます。しかし残念ながら、発見が遅れたり、がんが再発して「切除不能」と判断された場合、化学療法(薬物療法)を行います。化学療法の主な目的はがんの進行を抑え、症状をコントロールすること。近年は有効な抗がん



剤がいろいろ開発され、治療効果は以前より高まっています。

また、化学療法と並行し、がんに伴う身体的・精神的苦しみを緩和する治療も行います。当院では医師や看護師がチームを組んで、患者さんご家族の苦痛の軽減に力を注いでいます。

ステントを留置し 消化管・胆管の閉塞を 解消する治療も行います。

がんが進行すると、消化管が狭窄(狭くなること)を引き起こすことがあります。食道や胃が閉塞すると、嘔吐を感じたり、食事が取れなくなったりします。また大腸が閉塞すると、腸管内に便や腸液やガスなどがたまり、腸管の壁に穴があいてしまう危険性もあります。

こうした状態を解消するために、当院ではステント留置を行っています。これは内視鏡を用いて、閉塞したところにステント(金属製のメッシュ構造をした筒状の医療器具)を運び、留置するもの。食道、胃、膵臓、胆のう・胆管の場合は口から、大腸の場合には肛門から内視鏡を用いて留置します。ステントの留置後は、以前と同じように食事が食べられるようになり、生活の質を保つことができます。



Message



みよし市民病院 副院長
総合診療科内科部長
神部隆吉

患者さんの人生に寄り添い、より良い医療をめざします。

切除できない進行がんや再発がんの治療で重要なのは、患者さんの生活の質を保つことです。当院では、化学療法や緩和療法を中心に、体や心のつらさをできる限り取り除くお手伝いをさせていただきます。内科にはベテランの医師がそろっていますから、内視鏡を用いた精緻な治療も、新しい知見に基づく抗がん剤治療も安心してお任せいただきたいと思います。

また、がんの終末期までずっと支えることは、私たち市民病院の大きな役割だと考えています。患者さんそれぞれの生活やご希望にしっかり耳を傾けながら、ご本人とご家族が少しでも安楽に過ごせるよう努力しています。これからも地域の訪問診療を担う先生や看護師の方々と連携し、在宅療養している方々を精一杯支えていきたいと思っています。



上手な医療のかかり方②

コロナ禍でも健診や持病の治療、お子さまの予防接種などの健康管理は重要です。

今回のおはなし

訪問リハビリテーション



〈訪問リハビリテーション〉
について学びましょう。

自宅でリハビリテーションを続け
自立した日常生活をめざします。

高齢社会の進展に伴い、医療・介護の場所
は病院から在宅へと移りつつあります。そうしたな
かで需要が高まっているのが、訪問リハビリテー
ション。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士
が利用者の自宅を訪問し、心身機能の維持・回
復などを目的にしたリハビリテーションを行うサー
ビスです。その目的は、定期的なリハビリテーシ
ョンを続けることにより、住み慣れたわが家でできる限り自立した日常生活を続けられるよう
に支援するとともに、介護する家族の相談に応え、安心の療養生活を支えることです。

訪問リハビリテーションの対象者は、病院やリハビリテーション施設への通院が困難かつ要介護認定を受けた人で、「筋力が衰え、歩くことに不安がある」「手の動きが悪くなってきた」「言葉がはっきり出せない」などの理由から、主治医が訪問リハビリテーションの必要性を認めた人が対象となります。



みよし市民病院では

理学療法士をさらに拡充予定。手厚い訪問リハビリテーションを行っています。

当院では、令和元年から本格的に訪問リハビリテーションの取り組みをスタートしました。現在は、在宅医療課の理学療法士2名が専属スタッフとして、みよし市内の利用者さんを中心に自宅を訪問しており、さらに拡充予定です。

たとえば、「外出したい」「デイサービスに行きたい」「食事を作りたい」など、利用者さんの目標はいろいろ。それぞれの思いに寄り添い、1回40～60分程度のトレーニングを行っています。訪問リハビリテーションの良さは、実際の生活の場で動作を確認し、ご家族の話も聞きながら、動作の改善をめざせることです。施設では気づけないところまで目配りができ、より的確なアドバイスができると感じています。また、その分、私た

にも幅広い知識が問われますから、常に新しい情報を取り入れるよう努力しています。加えて、当院では、訪問看護や医師の往診、ケアマネジャー、福祉用具専門相談員等とも連携し手厚いサポートを実現しています。「自宅でリハビリを受けたいけれど、どうすればいいかわからない」という方もいらっしゃると思います。訪問リハビリに興味があれば、まずはお気軽に、ケアマネジャーさんや当院にご相談ください。



在宅医療課
理学療法士 金田 頼夢



上手な医療のかかり方③ 医療機関や健診会場では、換気や消毒でしっかりと感染予防対策をしています。

TOPICS

大切に保管を!



新型コロナワクチン接種後も、〈予防接種済証〉の保管をお願いします

2回目の接種が済んだ後でも
保管が必要です。

新型コロナワクチン接種後に、接種を受けた日付などを記載した〈予防接種済証〉がその場で発行されます。この予防接種済証には、〈いつ、どこで、どのワクチンを接種したのか〉という情報が記載されていますので、接種が終わった後も大切に保管してください。

こちらが〈予防接種済証〉となります

[illegible]

いつまで保管すればいいの？

④ 2回目の接種が済んだ後でも保管が必要です。

国の方針で、新型コロナワクチン3回目接種（追加接種）の実施が決まりました。現在、2回目接種完了から8カ月後の接種目安が想定されており、その際にも接種日、ワクチンのメーカー名などの情報が必要となります。



○ 他の予防接種を受けるときにも役立つの？

④ 役立ちます。

インフルエンザなど、他の予防接種を予定されている場合にも、予防接種済証の情報が役立ちます。なお、原則として新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に接種することはできません。互いに片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できるようになります(※)。

※一部、緊急性を要するものに関しては例外があります。

みよし市民病院を支える
チーム活動

vol.6

医療安全管理対策委員会／
転倒・転落予防(T・T・Y)ラウンド

入院生活の安全をしっかり守り、
治療に専念できるよう支えています。

当院の医療安全管理対策委員会は、神部隆吉副院長がリーダーとなり、医療安全管理者の資格を持つ5名のスタッフ（看護師4名・理学療法士1名）が中心となって、患者さんに安全な医療サービスを提供するために活動しています。

そのなかで今回ご紹介するのは、「転倒・転落予防ラウンド」の取り組みです。これは、入院患者さんのなかで、転倒や転落のリスクの高い方を月に1回訪問し、安全対策を考える



もの。ラウンドには看護師をはじめ、多職種が1チームとなつて病院全体で解決策を探ります。療養環境が整備されているか、点検や改善提案を行った上で、「床置き型の手すりを配置してはどうか」「緩衝マットを敷こうか」「履物を変えてみては」など、いろいろなアイデアを出し合い、一つずつ実践。リスクの高い患者さんだけでなく、すべての入院患者さんが安心・安全に生活でき、必要な治療に専念できるよう力を尽くしています。

プラスα 上手な医療のかかり方④ 健康に不安があるときは、まずはかかりつけ医・かかりつけ歯科医に相談しましょう。